



UFトーク 2026 vol.2

主催：ユニバーサルファッション協会

協力：ファッションビジネス学会 / ユニバーサルファッション研究部会、リファッション研究部会

【テーマ】

『リカバリーウェアへの課題と期待』
—「健康を着る」時代、衣服の新しい可能性—

【企画趣旨】

健康への関心が高まる中、いま注目を集めているのが、疲労回復をうたう「リカバリーウェア」です。

今回は、繊維・ファッション業界を代表する専門紙「繊維新聞」で、リカバリーウェアに関する記事を継続的に取材・執筆されている小堀真嗣氏をお迎えし、「リカバリーウェアへの課題と期待」をテーマにご講演いただきます。

近年、繊維素材の技術開発が進み、衣服が人にもたらす機能的な価値は大きく広がっています。これまで衣服の機能は、吸水速乾や保温、身体の動きに合わせた伸縮性など、人体の生理現象や動きに応える「受動的」なものが中心でした。

これに対して、近年登場したリカバリーウェアは、素材の働きによって身体に作用し、疲労回復をサポートするという、いわば「能動的」な機能を持つ新しいタイプの機能服です。特に、疲労回復の効果をうたうことができる「一般医療機器」のカテゴリーが新設されたことを契機に市場が拡大し、日ごろから疲労を感じている中高年層を中心に、潜在的な需要を取り込んできました。

リカバリーウェア市場の急速な成長は、健康やウェルビーイングへの関心の高まりとともに、超高齢社会を迎えた日本の暮らしや価値観を象徴する現象の一つともいえるでしょう。

今回の講演では、リカバリーウェアが生まれた背景や特徴、市場拡大の要因、最新の市場動向を解説するとともに、その一方で見えてきた課題にも目を向けます。さらに、リカバリーウェアがこれからの衣服にどのような可能性をもたらすのか、その将来展望についても考えます。

【開催概要】

日程：9月25日(金)18:30～20:00

場所：オンライン ZOOM(ミーティング形式)

【スピーカー】

小堀 真嗣(こぼり しんじ) 氏 織研新聞社記者

大阪支社編集部・記者。2007 年入社、大阪支社でスポーツメーカー、小売業を担当。2012 年に東京本社へ異動。翌年以降、川上分野を担当。副資材、合織、商社、経済産業省を担当し、2020 年に大阪支社へ。現在は紡績をメインに合織、服飾副資材などを担当。滋賀県出身。



【プログラム】

18:30～18:35 主催者挨拶(ユニバーサルファッション協会)

18:35～19:30 レクチャー(小堀 真嗣 氏)

19:30～20:00 Q&A

※終了時間は前後する可能性があります。ご都合に応じてご退席いただけます。

【モデレーター】

佃 由紀子 氏 NPO 法人ユニバーサルファッション協会 副理事

【参加費】

ユニバーサルファッション協会員 無料

ファッションビジネス学会員 1,200 円

一般 1,500 円

学生 500 円

応援チケット：2,000 円／3,000 円／5,000 円

【織研新聞電子版のご案内】

繊維・ファッション業界の最新情報を日々知ることのできる「織研新聞電子版」。今回のテーマであるリカバリーウェアについても、関連する記事が継続的に掲載されています。

この機会に、ぜひ「織研新聞電子版」のご購読をご検討ください。

<https://senken.co.jp/lp/promotion/>

【申込方法】

Peatix <https://peatix.com/event/5143504> にアクセスしてください。

Peatix がご利用できない場合は、info@unifa.jp にお問い合わせください。

※ご質問は、別途、info@unifa.jp までお送りください。時間の関係で、すべてのご質問にお答えできない場合がありますことをご了承ください。

皆様のご参加をお待ちしています！